

(様式3)

事業所名 グループホーム大地

目標達成計画

作成日: 令和 4年10月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	34 35	急変時や事故発生時、災害発生時の応急処置等について、全ての職員が必要なスキルを身につけているとは言えない。また、普通救命講習を修了していても年数が経過してしまっている。	全職員が普通救命講習を修了することで、まずは利用者の生命の安全を守れるようにする。	①令和4年度内に普通救命講習会を開催。 ②講習を未修の職員を優先。 ③時間経過した職員も再履修。 ④感染症蔓延状況をみて、地域住民も誘う。	5ヶ月
2	40 43 44 45 48	適切なシーティングやポジショニングに関してなど、身体機能の低下予防や向上についての知識・技術を身につけたい。	理学療法士等、リハビリの専門職から実践的な指導をしてもらい、利用者のQOL向上を目指す。	①作業療法士に実際に来てもらう。 ②社内研修で学んだ内容を全員が身につける。 ③指導的職員の育成。	24ヶ月
3	23 25 26 27	介護記録の重要性が、職員に浸透していない。文章を書くことが苦手な職員もあり、ケアマネジメントに影響を及ぼしている。	介護記録の質の向上を図る。それにより、本人の生活状況と課題を正確に共有し、PDCAサイクルを活発化させる。	①引き続き定期的な勉強会を開催。 ②5W1Hを意識化する。 ③文章作成が困難な職員への個別指導(OJT)。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月